

インフルエンザ流行情報について（第8報）

●インフルエンザ流行情報

本県における平成30年第3週(1月15日～1月21日)のインフルエンザ定点当たりの患者報告数は**51.05(平成30年2週は30.40)**となり、先週から急増しました。

保健所管内別のインフルエンザ定点当たりの患者報告数は、竜ヶ崎保健所管内(70.62)が最も高く、古河(69.00)、土浦(66.54)の順に高い状況です。

県民の皆様には、より一層「手洗いの励行」、「咳エチケットの実践」等の感染予防対策をお願いいたします。

なお、茨城県衛生研究所において、平成29年9月4日から平成30年1月24日までの期間にインフルエンザウイルスを検出した104検体の種類の内訳は、AH3(A香港型)が25検体(24.04%)、AH1pdm09が47検体(45.19%)、B型が32検体(30.77%)となっています。

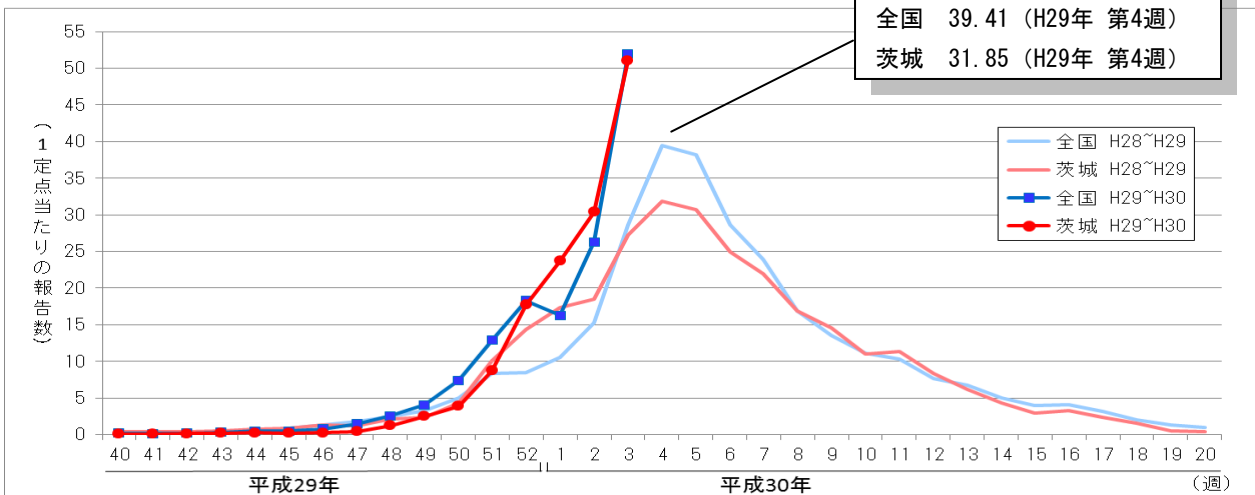
[昨シーズン全体で AH3(A香港型):75.6%, AH1pdm09:8.1%, B型:16.3%]

また、インフルエンザ流行情報および学級閉鎖等措置・集団発生等の状況については、感染症情報センターのホームページに掲載し、毎週木曜日に更新しています。

【茨城県感染症情報センターホームページURL】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

感染症発生動向調査(定点当たりの患者報告数の推移)※



※値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

- ① 定点当たりの患者報告数が**基準値(注意報: 10 警報: 30)**を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。また、県全体において定点当たりの患者報告数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。
- ② **注意報**：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。
警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
なお、警報の解除は終息基準値(10)を下回ったときになります。

《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

3週の値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

保健所	調査期間： H30. 1. 15～H30. 1. 21 (第3週)			調査期間： H30. 1. 8～H30. 1. 14 (第2週)		
	定点数	患者数	定点当たりの患者報告数※	定点数	患者数	定点当たりの患者報告数※
水戸	17	493	29.00	17	261	15.35
ひたちなか	8	404	50.50	8	166	20.75
常陸大宮	8	354	44.25	8	248	31.00
日立	11	369	33.55	11	182	16.55
鉾田	5	295	59.00	5	175	35.00
潮来	8	414	51.75	8	250	31.25
竜ヶ崎	13	918	70.62	13	655	50.38
土浦	13	865	66.54	13	524	40.31
つくば	10	539	53.90	10	411	41.10
筑西	10	482	48.20	10	246	24.60
常総	8	390	48.75	8	171	21.38
古河	8	552	69.00	8	329	41.13
県全体	119	6,075	51.05	119	3,618	30.40

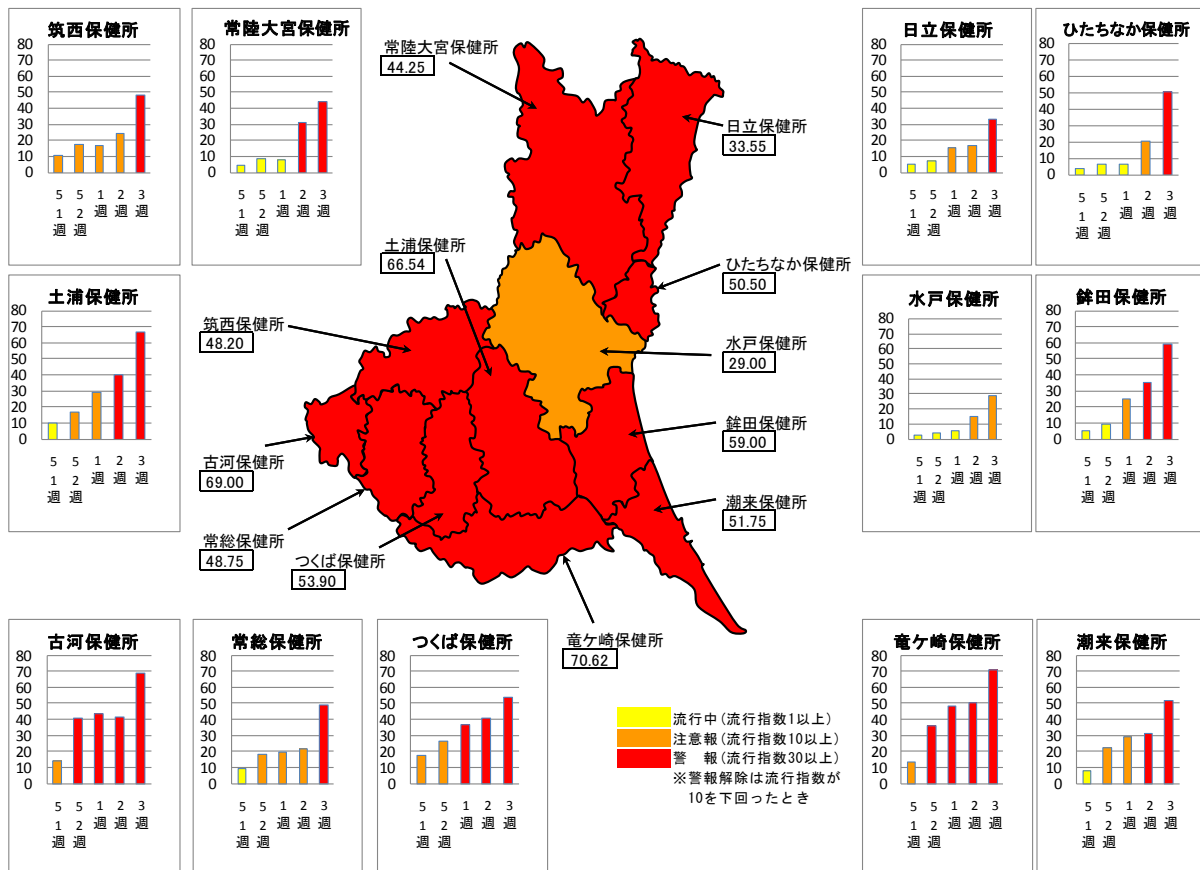
※ インフルエンザの定点当たりの患者報告数は1定点あたり1週間の平均患者数

インフルエンザの定点当たりの患者報告数 = $\frac{\text{インフルエンザ定点において1週間の間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ定点数(県内に120医療機関[平成30年1月21日時点])}}$

・ 定点当たりの患者報告数が 1.0 を超えると流行期に入ったと判断します。

《茨城県内のインフルエンザ流行マップ》

● 2018年第3週（1月15日～1月21日）および過去4週間のインフルエンザ流行状況



※値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

茨城県のインフルエンザによる入院患者の概況

期間(報告週) 2018年3週

(1)入院患者の届出数

年齢別 \ 期間		12/18~12/24 (51週)	12/25~12/31 (52週)	1/1~1/7 (1週)	1/8~1/14 (2週)	1/15~1/21 (3週)	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ※1
入院患者数 ※1		5人	20人	40人	70人	82人	0人	0人	9人	30人	192人			231人
年齢別 内訳	1歳未満	1人	1人	1人		2人				2人	3人			5人
	1~4歳		2人	1人	1人	7人			2人	3人	9人			14人
	5~9歳	1人	4人	1人	5人	3人			2人	7人	9人			18人
	10~14歳		1人	1人	1人	1人			1人	1人	3人			5人
	15~19歳		1人	1人		1人				1人	2人			3人
	20~29歳			1人							1人			1人
	30~39歳		1人		1人	1人				1人	2人			3人
	40~49歳		1人	3人	6人	2人			1人	2人	11人			14人
	50~59歳			3人	2人	4人					9人			9人
	60~69歳		1人	2人	8人	13人				1人	23人			24人
	70~79歳	2人	1人	10人	18人	19人			1人	4人	47人			52人
80歳以上	1人	7人	16人	28人	29人			2人	8人	73人			83人	

※1 基幹定点医療機関(県内13か所)からのインフルエンザによる入院患者の届出数。

※2 平成29年9月4日以降に入院した各患者の累計数(入院日を登録)。

※ 2017~2018シーズンは2017年36週(9/4~9/10)からスタートしています。

(1)入院患者の週別推移(全国)

年齢別 \ 期間(報告週)		2017年51週	2017年52週	2018年1週	2018年2週	2018年3週	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ※1
入院患者数 ※3		571人	788人	1,268人	1,742人	2,370人	64人	109人	350人	1,779人	5,380人			7,682人
年齢別 内訳	1歳未満	29人	46人	46人	52人	75人	3人	6人	15人	91人	173人			288人
	1~4歳	95人	133人	156人	186人	259人	10人	19人	56人	286人	601人			972人
	5~9歳	93人	114人	110人	114人	219人	9人	9人	53人	287人	443人			801人
	10~14歳	40人	30人	35人	44人	70人		3人	14人	87人	149人			253人
	15~19歳	10人	8人	14人	11人	16人		3人	6人	23人	41人			73人
	20~29歳	7人	6人	18人	24人	26人		1人		20人	68人			89人
	30~39歳	8人	15人	22人	29人	35人	3人		5人	41人	86人			135人
	40~49歳	14人	21人	40人	60人	63人	3人	1人	7人	43人	163人			217人
	50~59歳	13人	24人	69人	79人	105人	1人	2人	14人	48人	253人			318人
	60~69歳	48人	74人	143人	188人	251人	6人	10人	23人	163人	582人			784人
	70~79歳	85人	120人	210人	326人	416人	11人	21人	52人	254人	952人			1,290人
80歳以上	129人	197人	405人	629人	835人	18人	34人	105人	436人	1,869人			2,462人	

※3 基幹定点医療機関(約500カ所)からのインフルエンザによる入院患者の届出数

《備 考》

インフルエンザの予防について

～ひろげるなインフルエンザ！ひろげよう咳エチケット！～

◆ インフルエンザにかからない、うつさないための対策

☆帰宅時の手洗い

手にウイルスがついたままにしない
ことが大切です



☆咳エチケット

咳やくしゃみをする時は
鼻や口をおさえましょう
マスクをしましょう



☆予防接種

◆ インフルエンザにかかった場合の対応

- ・ 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- ・ 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・ 水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- ・ 一般的に、インフルエンザを発症してから3～7日間はウイルスを排出すると言われてい
ますので、その間は外出を控えましょう。



茨城県感染症情報センター
(茨城県衛生研究所企画情報部)
TEL 029-241-6652